

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	日本国憲法						授業形態		講義	
科目コード	120330	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	永井 崇敦								ICT活 用	○
授業概要	“この講義では、大学で初めて憲法を学ぶ学生を対象として、日本国憲法の基礎知識と基本的な考え方を学びます。社会でおきている諸問題を憲法的な観点から考えられるようになることを目的とします。 ”									
関連する科目	法学									
授業の進め方 と方法	講義では、はじめに条文とテキストに沿って基本的な知識を習得します。その後、判例を取り扱い、実際の社会で憲法がどのように活用・保障されているのかを学びます。									
授業計画 【第1回】	“第1回 オリエンテーション 法とは何か、他の社会規範と何が違うのか、法の学び方について取り扱います。”									
授業計画 【第2回】	“第2回 憲法と日本国憲法 憲法概念と日本国憲法の特質について学びます。 ”									
授業計画 【第3回】	“第3回 人権の設計図 憲法上保証される基本的人権と人権主体の範囲について学びます。”									
授業計画 【第4回】	“第4回 法の下平等 法の下平等と平等の意味、判例の系統等について学びます。”									
授業計画 【第5回】	“第5回 精神的自由（1） 思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由について学びます。”									
授業計画 【第6回】	“第6回 精神的自由（2） 表現の自由について学びます。”									
授業計画 【第7回】	“第7回 経済的自由 経済的自由の意義、職業選択の自由と仕事の価値、財産権の保障について学びます。”									
授業計画 【第8回】	“第8回 人身の自由 適正手続きと被告人の権利保障等について学びます。”									
授業計画 【第9回】	“第9回 生存権と労働基本権 社会権の意義と生存権、労働基本権について学びます。”									
授業計画 【第10回】	“第10回 教育権 公教育と憲法26条の意義等について学びます。”									

授業計画 【第11回】	“第11回 平和主義 憲法9条の意義、自衛隊と日米安保条約の憲法適合性問題等について学びます。”
授業計画 【第12回】	“第12回 国会 立法権の概念、国会の地位・機能、議院の権能等について学びます。”
授業計画 【第13回】	“第13回 国会と内閣／議院内閣制 国民代表と選挙、選挙制度、議院内閣制、内閣の権能について学びます。”
授業計画 【第14回】	“第14回 裁判所 司法権の意味、司法権の独立、違憲立法審査制、裁判員制度について学びます。”
授業計画 【第15回】	“第15回 地方自治 地方自治の意義・制度と地方自治体の条例制定権等について学びます。”
授業の到達目標	“日本国憲法の基本的な仕組みを知る。 憲法が現実社会においてどのような影響を与えているのか理解する。 社会的な問題について憲法的な視点で分析・判断する能力を身につける。 ”
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	(予習)事前修学(1時間)として、テキストの対象箇所を読んで、概要を把握してください。
授業時間外学習【復習】	(復習)事後修学(1時間)として、講義で扱った条文や判例について整理してください。
課題に対する フィードバック	期末定期試験後に解説を行います。
評価方法・基準	期末定期試験100点で行います。
テキスト	加藤一彦著 「教職教養憲法15話(改定5版)」(北樹出版、2025年)
参考書	“長谷川恭男ら編「憲法判例百選Ⅰ(第7版)」(有斐閣 2019年) 長谷川恭男ら編「憲法判例百選Ⅱ(第7版)」(有斐閣 2019年)”
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科／食品開発科学科				
科目名称	日本国憲法							授業形態		講義		
科目コード	120330	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員				アクティブ ラーニング		
担当教員名	高松 浩大										ICT活 用	
授業概要	国の基本法である日本国憲法の基礎知識と基本的考え方の修得を目標とする。 あわせて、日常生活や政治の中で、憲法が具体的にどのように解釈、適用されているのかを、判例の検討を通して学んでいく。											
関連する科目	法学											
授業の進め方 と方法	各回の講義テーマに沿って基本的概念、規定の目的、解釈論、重要判例を解説する。											
授業計画 【第1回】	・ 日本国憲法の成立と基本原理 ・ 最高法規											
授業計画 【第2回】	・ 天皇と国民主権 ・ 平和主義 ・ 基本的人権											
授業計画 【第3回】	・ 個人の尊重と幸福追求権 ・ 新しい人権											
授業計画 【第4回】	・ 法の下での平等 ・ 人身の自由											
授業計画 【第5回】	・ 精神的自由 (1) (思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由)											
授業計画 【第6回】	・ 精神的自由 (2) (表現の自由、集会結社の自由、通信の秘密)											
授業計画 【第7回】	・ 経済的自由											
授業計画 【第8回】	・ 社会権											
授業計画 【第9回】	・ 参政権・国務請求権											
授業計画 【第10回】	・ 国会 ・ 内閣											

授業計画 【第11回】	・裁判所
授業計画 【第12回】	・財政 ・地方自治
授業計画 【第13回】	・改正 ・憲法保障
授業計画 【第14回】	・憲法保障 ・憲法改正問題
授業計画 【第15回】	・近時の憲法判例
授業の到達目標	憲法の全体像、基礎知識、基本的な考え方、具体的事件（判例）との結びつき等が理解できること
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	テキストを一読し、概要をつかんでおく。
授業時間外学習【復習】	講義内容を反芻し、判例の事案、結論、結論に至る論理を理解する。
課題に対する フィードバック	小テスト、定期試験後、解説を行う。
評価方法・基準	小テスト、期末定期試験で成績評価を行います。 なお、出席すべき日数の3分の2以上の出席がない場合、期末定期試験の受験資格が無くなり、不合格となりますので注意してください。
テキスト	日本国憲法 第2版 (Next教科書シリーズ) 東 裕, 杉山 幸一 (編) 2025/12/24発行 弘文堂 2,420円 (本体2,200円+税)
参考書	・憲法(第八版) 芦部信喜 著, 高橋和之 補訂 2023/09/08刊行 岩波書店 ¥3,740 ・憲法判例百選Ⅰ 第7版(別冊ジュリスト) 長谷部恭男, 石川健治, 穴戸常寿(編) 2019/11/29 有斐閣 ¥2,530 ・憲法判例百選Ⅱ 第7版(別冊ジュリスト) 長谷部恭男, 石川健治, 穴戸常寿(編) 2019/11/29 有斐閣 ¥2,530
備考	

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	日本国憲法						授業形態		講義	
科目コード	120330	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	
担当教員名	永井 崇敦								ICT活 用	○
授業概要	〃この講義では、大学で初めて憲法を学ぶ学生を対象として、日本国憲法の基礎知識と基本的な考え方を学びます。社会でおきている諸問題を憲法的な観点から考えられるようになることを目的とします。 〃									
関連する科目	法学									
授業の進め方 と方法	講義では、はじめに条文とテキストに沿って基本的な知識を習得します。その後、判例を取り扱い、実際の社会で憲法がどのように活用・保障されているのかを学びます。									
授業計画 【第1回】	〃第1回 オリエンテーション 法とは何か、他の社会規範と何が違うのか、法の学び方について取り扱います。〃									
授業計画 【第2回】	〃第2回 憲法と日本国憲法 憲法概念と日本国憲法の特質について学びます。 〃									
授業計画 【第3回】	〃第3回 人権の設計図 憲法上保証される基本的人権と人権主体の範囲について学びます。〃									
授業計画 【第4回】	〃第4回 法の下での平等 法の下での平等と平等の意味、判例の系統等について学びます。〃									
授業計画 【第5回】	〃第5回 精神的自由（1） 思想・良心の自由、信教の自由、学問の自由について学びます。〃									
授業計画 【第6回】	〃第6回 精神的自由（2） 表現の自由について学びます。〃									
授業計画 【第7回】	〃第7回 経済的自由 経済的自由の意義、職業選択の自由と仕事の価値、財産権の保障について学びます。〃									
授業計画 【第8回】	〃第8回 人身の自由 適正手続きと被告人の権利保障等について学びます。〃									
授業計画 【第9回】	〃第9回 生存権と労働基本権 社会権の意義と生存権、労働基本権について学びます。〃									
授業計画 【第10回】	〃第10回 教育権 公教育と憲法26条の意義等について学びます。〃									

授業計画 【第11回】	“第11回 平和主義 憲法9条の意義、自衛隊と日米安保条約の憲法適合性問題等について学びます。”
授業計画 【第12回】	“第12回 国会 立法権の概念、国会の地位・機能、議院の権能等について学びます。”
授業計画 【第13回】	“第13回 国会と内閣／議院内閣制 国民代表と選挙、選挙制度、議院内閣制、内閣の権能について学びます。”
授業計画 【第14回】	“第14回 裁判所 司法権の意味、司法権の独立、違憲立法審査制、裁判員制度について学びます。”
授業計画 【第15回】	“第15回 地方自治 地方自治の意義・制度と地方自治体の条例制定権等について学びます。”
授業の到達目標	“日本国憲法の基本的な仕組みを知る。 憲法が現実社会においてどのような影響を与えているのか理解する。 社会的な問題について憲法的な視点で分析・判断する能力を身につける。 ”
学位授与の方針 (DP)との関連	3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外学習【予習】	(予習)事前修学(1時間)として、テキストの対象箇所を読んで、概要を把握してください。
授業時間外学習【復習】	(復習)事後修学(1時間)として、講義で扱った条文や判例について整理してください。
課題に対する フィードバック	期末定期試験後に解説を行います。
評価方法・基準	期末定期試験100点で行います。
テキスト	加藤一彦著 「教職教養憲法15話(改定5版)」(北樹出版、2025年)
参考書	“長谷川恭男ら編「憲法判例百選Ⅰ(第7版)」(有斐閣 2019年) 長谷川恭男ら編「憲法判例百選Ⅱ(第7版)」(有斐閣 2019年)”
備考	